

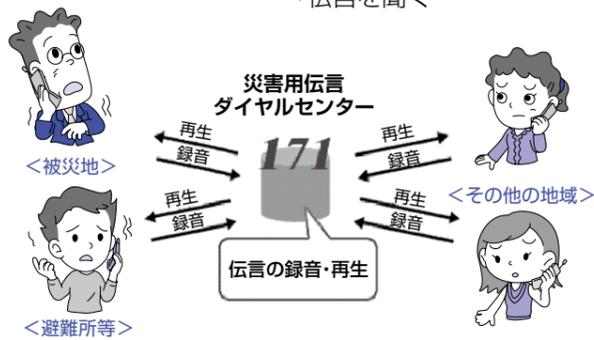
家族みんなで防災会議

- 普段から自宅・学校・職場の近くや通勤通学途中にある避難所の場所を、家族で確認しておきましょう。
- 保育園・幼稚園・学校における子どもの引き取りに関する取り決めを、確認しておきましょう。
- 家族の無事を確認しましょう。
→ 災害用伝言ダイヤル「171」の活用



災害用伝言ダイヤル「171」の使用方法

- 伝言をする... 1 録音する人は自宅の電話番号
→ 伝言を吹き込む
※ どちらも市外局番から押してください
- 伝言を聞く... 2 伝言を聞く人は被災地の人の電話番号
→ 伝言を聞く



携帯電話災害用伝言板の使用方法

- 災害時に携帯電話インターネットサービスのトップメニューから「災害用伝言板」を開く
- 伝言をする→「登録」を選択して伝言を入力する
- 伝言を見る→「確認」を選択し、被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る

日頃から準備しておきたいもの

- 外出先でいつも身につけておきたいもの
 - ・ 身元や連絡先を記したカード、かかりつけの病院の診察券
 - ・ ポケットラジオ、メモ帳、筆記具など
 - ・ LED ランプ付キーホルダー、笛、ハンカチ、チョコなど
- ◎ 無意識に持って歩けるような大きさ・軽さにすることがポイントです。
- 家庭や職場に常備しておきたいもの
 - ・ 履きやすく脱げにくい紐なしのスック、レインウェア、革手袋、ヘッドライトなど
 - ・ 常備薬、入れ歯、補聴器、スベアのメガネ、主な通帳など
 - ・ ティッシュ、トイレトーパー、ラップ、大型ゴミ袋、レジ袋、ペットボトルの水、新聞紙など
- ◎ 家庭の寝室や玄関、職場の机の下やロッカーなどに備えておきましょう。



普段からの地域のつながりが大切です

阪神・淡路大震災で、家の下敷きになった人々の多くを助け出したのは、家族や近所の人たちでした。大規模災害時の救助や避難などには、普段の近所づきあいが力を発揮します。また、お年寄りや障害のある人など災害に弱い人々の立場にたった心配りが大切になります。



災害に備えて、今、私たちにできること

いつ、どこで、襲われるかわからない災害。地震、津波、台風など自然災害は思わぬ時にやってきます。尊い命を救い、被害を少しでも小さくするために大きな力となるのは、自分の身は自分で守り、家族や地域で助け合うこと。災害をなくすことはできませんが、被害を少しでも減らすことは今からでも取り組みます。そのために、今、できること・しなければならないことを考えましょう。



福井豪雨(2004.7.19)

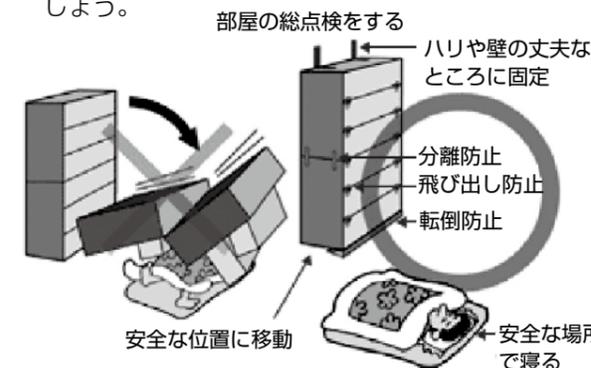


新潟県中越沖地震(2007.7.16)

地震から命を守るため、部屋の総点検を

大地震では、テレビが飛び、タンスが倒れかかってきます。窓ガラスや食器は、鋭い破片を床一面に広げ、行く手をはばみます。

- 部屋の中に安全なスペースをつくるため家具の配置を工夫しましょう。
- 家具類は倒れないように金具などで固定し、ガラスには飛散防止フィルムを貼るなど対策をとりましょう。



あなたの家は地震に耐えられますか？

あなたの家は何年に建てられましたか？

- 昭和 56 (1981) 年以前に建てられた家は、十分な強度がそなわっていない場合があるので、必ず耐震診断を受け、その結果に応じた補強を行いましょう。



補強金物の有無による実験

- 新しい耐震基準に基づいて作られた建物であっても、あくまで人命に深刻な影響が及ばないということに基づいていますので、建物が全く壊れないということではありません。点検・整備をこまめに行いましょう。

南越前町 災害対策本部 立上げ演習実施

6月25日、大規模災害が発生した場合、いかに体制を整えて初動時の対応を行うかについて町職員が災害対策本部立上げ演習を実施しました。

午前8時30分に南越前町で震度6強の地震があり、建物被害・道路寸断・ライフライン損壊等の被害が発生したと想定。参集した職員約30人が初動体制を整え、町長を本部長とする災害対策本部を立上げ、広報・救護・応急対応の三班に分かれて対応を開始。マニュアルがない、実情に即した対応訓練で防犯体制の強化を図りました。

福井県総合防災訓練を開催

9月7日(日)、福井県総合防災訓練が今庄365スキー場と堺地区体育館で福井県・南越前町の主催により行われます。

午前8時30分頃、南越前町南部を震源とするマグニチュード7.1、震度6強の地震が発生したと想定し、岩手・宮城内陸地震での被害の特徴を参考に、現実の災害に即した実践的な訓練を実施します。

訓練には住民参集訓練を行う堺地区住民とスキー場でトリアージ訓練等を行う各集落代表が参加します。

※トリアージとは... 救命の可能性が高いものから順に救護、搬送、治療に当たるための優先順位を決めること。

◎ 中止の際には、音声告知器で一斉告知します。